

時制 標準

空欄に適する語句を選びなさい。

- Alex was wearing the jacket that he []
by Anna recently.

(南山大)

- ① had been given [校正用: true]
- ② is given [校正用: false]
- ③ had given [校正用: false]
- ④ given [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「アレックスは、最近アンナからもらった上着を着ていた。」

アンナから上着をもらったのは、Alex was wearing「アレックスが着ていた」という過去よりも前の出来事であることに注意。このように、**ある過去の時点よりも前の過去**の内容を表すときは、**過去完了 had done** を使って表す。本問では、受け身の意味が加わって受動態の過去完了had been doneという形になっている。

空欄に適する語句を選びなさい。

- When Scott [] that he was accepted to university, he became really happy.

(南山大)

- ① was hearing [校正用: false]
- ② has heard [校正用: false]
- ③ having heard [校正用: false]
- ④ heard [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「スコットは大学入学が認められると聞くと、うれしくてたまらなくなった。」

「スコットが知らせを聞いて、うれしくなった」という文だとわかる。「スコットが知らせを聞いた」ときと、he became really happy「うれしくてたまらなくなった」ときは一致しているので、主節の動詞becameの過去形に合わせて、whenのかたまりの動詞も過去形で表す。1は、hear「～が聞こえる」のような知覚・感覚を表す **状態動詞** はふつう **進行形にできない** ので不適切。本問の主語Scottは「熱心に話を聞いていた」のではなく、大学入学の知らせ「が聞こえた（＝を聞いた）」という内容であることを確認しておこう。

空欄に適する語句を選びなさい。

- I [] in Kyoto for two years before I moved to Tokyo.

(法政大)

- ① am living [校正用: false]
- ② had lived [校正用: true]
- ③ live [校正用: false]
- ④ have lived [校正用: false]

解答：②

【設問の解説】

「私は東京に引っ越す以前は京都に2年住んでいた。」

before I movedに注目。 **過去のある時点までの完了・結果、経験、継続** は **過去完了 have done** で表す。東京に引っ越したという過去の時点に対して、「それまでの2年間を京都ですずっと暮らしていた」という継続を表している。

move to ～ 「～に引っ越す／～に移動する」

空欄に適する語句を選びなさい。

- Barbara [] in Boston for four years until she moved to Canada.

(立命館大)

- ① has been living [校正用: false]
- ② has lived [校正用: false]
- ③ is living [校正用: false]
- ④ lived [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「バーバラはカナダに引っ越すまでボストンに4年住んでいた。」

バーバラがボストンに住んでいたのは、she moved to Canada「彼女がカナダに引っ越した」という過去よりも前の出来事であることに注意。このように、**ある過去の時点よりも前の過去の内容**を表すときは、原則として**過去完了** had doneを使って表す。ただし、after、before、until、by the timeなどの前後関係がわかりやすい接続詞が使われていたり、文脈から前後関係が明らかだったりするときは、過去形で表すことがある。本問は、選択肢に過去完了had livedがないので、過去形livedで表す。

[move to](#) ～ 「～に引っ越す／～に移動する」

空欄に適する語句を選びなさい。

- Take an umbrella with you in case it [] .

(群馬大)

- ① will rain [校正用: false]
- ② rains [校正用: true]
- ③ rain [校正用: false]
- ④ rained [校正用: false]

解答：②

【設問の解説】

「雨が降るといけないので傘を持っていきなさい。」

in case S V 「～する場合に備えて／もし～なら」のような **時・条件を表す副詞節** のなかでは、**未来の内容であっても現在形** で表す。モモコが戻ってくるのは、これから先の未来の内容であることを確認しておこう。なお、**in case of** ～ を使って言い換えることができるので、この形も覚えておこう。

Take an umbrella with you in case of rain.

空欄に適する語句を選びなさい。

- Do you know that house [] to him?

(－)

- ① is belonging [校正用: false]
- ② belong [校正用: false]
- ③ is belonged [校正用: false]
- ④ belongs [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「あの家が彼のものだって知ってる？」
belong to ～ は「（主語が）～に属している」という意味の **状態動詞**。状態動詞は原則として **進行形にできない** ので、「属している」という日本語にひきずられて 1 is belonging を選ばないように注意。本問は、時制が現在の文で、that house が三人称単数なので belong に s がついている。

空欄に適する語句を選びなさい。

- Five years and a half [] since we came to this town.

(－)

- ① is passed [校正用: false]
- ② passed [校正用: false]
- ③ have passed [校正用: true]
- ④ had passed [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「私たちがこの町にきてから5年半になる。」

〈時間＋ have passed since S V（過去形）～〉
 「～してから...になる」を使った文。この表現は現在完了を使う重要表現なので、このままの形で覚えよう。過去のある出来事を起点に〈時間〉が経過して今にいたるという意味で、現在とつながりがある内容なので現在完了で表す。①は、このpassが「経過する」という意味の自動詞なので受動態にできない。②のsinceは「～以来」という意味の場合、ふつうは完了形といっしょに使い、過去形といっしょに使えない。④の過去完了は、sinceのあとのcameよりも前の出来事を表すことになるので文意が成り立たない。

なお、「～してから...になる」は〈It is [has been]＋時間＋ since S V（過去形）～〉の形で表すことができる。

It is[has been] five years and a half since we came to this town.

2つの英文がほぼ同じ意味になるように、空欄に適する語句を選びなさい。

- (a) It's been almost ten years since my father died.
- (b) My father [] for almost ten years.

(－)

- ① is dead [校正用: false]
- ② has been dead [校正用: true]

- ③ died [校正用: false]
- ④ has died [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「父が亡くなってからそろそろ10年になる。」

〈It is [has been]+時間+ since S V (過去形)〜〉は「～してから...になる」という意味の重要表現。(b)の文末にfor 〜「～のあいだ(ずっと)」とあるので、「ほぼ10年間ずっと...している」という継続を表す現在完了を使って言いかえる。ただし、④のdieは「死ぬ」という意味の動作動詞なので、継続を表す現在完了としてhave[has] diedと表すと、死ぬという行為をずっと継続するという不自然な意味になるので不適切。したがって、②の形容詞deadを使ってhave[has] been dead「死んでいる状態がずっとつづいている」が文意に合う。

正解選択肢と「解答：」の次の文字が一致しません

ここに参考書リンクが入ります